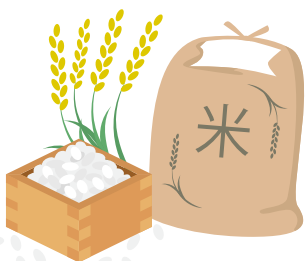
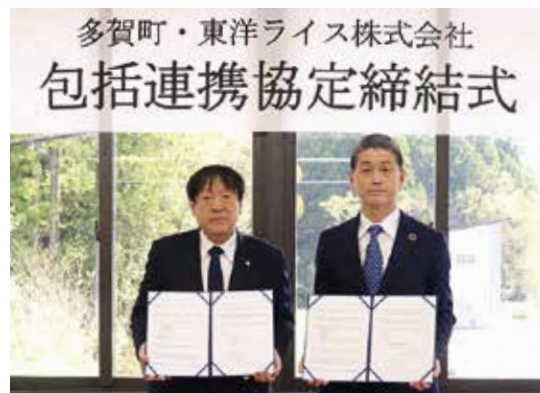


4月16日 東洋ライス株式会社の包括連携に関する協定締結

このたび、多賀町と東洋ライス株式会社は、町民の健康増進や食育の推進、農業振興、災害支援等を通じた地域活性化を目的とし、包括連携協定を締結することとなりました。



具体的には、多賀町産米コシヒカリを東洋ライスの精米技術により栄養価の高い「無洗米」に加工し、町立保育園やこども園、小中学校の給食で提供するほか、精米工程で出る有機質肥料を使った町内産米のブランド化や災害時の支援などを検討しており、今後連携事業を拡大していく予定です。



▲東洋ライス株式会社
代表取締役副社長 阪本哲生(右)

4月25日 「滋賀県立大学 多賀木匠塾」の木工教室を開催！

多賀町では、今年4月から「第4次多賀町読書活動推進計画」が始動しました。この計画の柱の一つとして、「毎月23日を多賀っ子どくしょの日」と定め、地域・学校・関係施設で読書の楽しさや魅力を広めていきます。その記念すべき始まりとして、4月25日に町立図書館で特別イベント「木工教室」を開催しました。講師を務めてくれたのは、地域の教育拠点である滋賀県立大学「多賀木匠塾」の皆さんです。



▲木匠塾「多賀木匠塾」の皆さん

会場では、学生たちが子ども一人ひとりの目線に合わせて、「ここはこう組み合わせたらどう？」と優しく声をかけ、楽しげなやり取りが終始続いていました。学生のサポートもあり、子どもたちは自分ならではの作品を完成させていました。

今回のイベントは、子どもたちの豊かな感性を育む「木育」と、本の世界をつなぐ試みです。図書館ではこの日に



▲木工教室のようす

合わせ、木工や本に親しめる特集展示もおこない、ものづくりの感動をそのまま読書体験へとつなげました。

滋賀県立大学「多賀木匠塾」の皆さんの温かい協力のおかげで、これからの毎月23日に向けた素晴らしい第一歩を踏み出すことができました。多賀町では、これからも「毎月23日は多賀っ子どくしょの日」を通じて、皆さんが本と出会い、ワクワクする体験ができる環境を地域全体で育ててまいります。



▲完成した作品

5月5日 こ れ い さ い 古例祭(大瀧神社)がおこなわれました。

神幸祭の神事後、渡御の先鉄棒曳に続き鉦鼓・太鼓・子ども神輿・御幣・御剣鉦・童女・大人神輿などが犬上川沿いに進み、御旅所で神事後、本渡りで往復約2.5キロを、幸寄れという意味の「サンヨレヨー・サンヨレヨー」の掛け声とともに威勢よく町内を練り歩きました。

古例祭のようす▶



5月10日 多賀町にあったSL列車 奇跡の復活！

4年前、多賀町から石川 昭さんに寄贈された蒸気機関車が修繕され、かつての姿を取り戻しました。多賀町のSLパークにあったこの列車は令和4年、多賀町から愛知県在住の石川 昭さんに寄贈されました。長年の経年劣化により、塗装の剥がれ、部品の欠落などかなり痛みが進んでいた状態でしたが、石川さんの懸命な修復作業によって、走行がで



▲石川さんとSL仲間の皆さん

きる状態にまで復元されました。石川さんがほぼひとりでおこなったという修復作業は、SLを格納する際に建てられた車庫にて4年がかりでおこなわれ、錆付いて動かなくなった車輪の修理から腐食し穴の開いた車体の補強、車体全体の塗装に至るまで、時には足りないパーツを自作しながら、石川さんのこだわり抜いた作業の中進められました。



▲SLを格納するために建てられた倉庫

5月10日におこなわれたお披露目会では県内外から多くの人が集まり、大注目の中、SL列車の動く様子が披露されました。

今後、SL列車が多くの人に親しまれ、思い出として残り続けるレガシーとなることを願っております。



▲塗装されたSL

5月16日 し こ く けん の う お た う え さ い 令和8年「新穀献納」に伴う御田植祭が開催されました。

多賀町土田で、令和8年「新穀献納」に伴う御田植祭が厳かに執りおこなわれました。この「新穀献納」は、天皇陛下が執りおこなわれる「新嘗祭」に合わせ、全国の農業者がその年に収穫された新穀を献納する伝統行事です。滋賀県では県内各地の持ち回りで実施されており、このたび36年ぶりに多賀町から「土田農業組合」さんが「献穀者」をお受けされ、お米を献納されます。

式典には、多くの関係者や土田区民の方が参列され、地元の土田子ど



▲鍬入れの儀のようす

も会の小学生が、ていねいに苗を植え付けられました。



▲苗の植え付けのようす

産業環境課(農業) 南2-2030 (電)0749-48-8117 (F)0749-48-0594

多賀町特産物振興連絡協議会だより ～多賀の特産物を紹介します～

多賀町の豊かな自然と清らかな水で育まれた「多賀の特産物」の魅力を周知するため、5月17日開催されましたいきいきライフ体験塾でお米の食味イベントを実施しました。

今回ご紹介したのは、滋賀県奨励品種である「みずかがみ」と、良食味で知られる「にこまる」です。「みずかがみ」はその際立つ白さと冷めても損なわれない食味の良さが、一方の「にこまる」は粒の大きさと豊かな粘り強さが大きな特徴です。

当日は多くの住民の皆さんに地元産米の品質の高さをご体験いただきました。試食された方々からは「モチモチしておいしかった」といった感想をいただきました。

多賀町では、今後も安全・安心で美味しい米作りを推進するとともに、地産地消の普及・啓発に努めてまいります。



▲特産物お米の紹介